

成年後見制度の利用促進について

1. 成年後見制度の申立件数と利用者数の推移

	申立件数(総数)		成年後見制度利用者数(人数、増加率)			
	全国	千葉県	全国		千葉県	
H23	31,402件	1,499件	153,314人	—	6,363人	—
H24	34,689件	1,634件	166,289人		7,043人	
H25	34,548件	1,530件	176,564人		7,511人	
H26	34,373件	1,571件	184,670人		7,945人	
H27	34,782件	1,533件	191,335人		8,184人	
H28	34,249件	1,595件	203,551人		8,897人	
H29	35,737件	1,704件	210,290人		9,388人	

出典：(全 国)成年後見関係事件の概況(最高裁判所事務総局家庭局)
(千葉県)千葉家庭裁判所の自庁統計による概数

2. 成年後見制度利用促進法 (成立日：H28. 4. 8 施行日 H28. 5. 13)

- (1) 基本理念 地域の需要に対応した成年後見制度の利用促進、成年後見制度の利用に関する体制の整備等。
- (2) 国の役割 成年後見制度の利用促進に関する施策の総合的な策定及び実施。
成年後見制度利用促進基本計画の策定等。
- (3) 県の役割 成年後見人等となる人材の育成(努力義務)、必要な助言・その他の援助(努力義務)。
- (4) 市町村の役割 成年後見等実施機関の設立に係る支援その他必要な措置(努力義務)、利用促進を審議する審議会その他合議制の機関の設置(努力義務)、成年後見制度利用促進に関する施策の基本的計画の策定(努力義務)。

3. 成年後見制度利用促進基本計画の概要（閣議決定日：H29.3.24）

（1）利用者がメリットを実感できる制度・運用の改善

- ・財産管理のみならず、意思決定支援・身上保護も重視した適切な後見人の選任等
- ・本人の置かれた生活状況等を踏まえた診断内容について記載できる診断書の在り方の検討

（2）権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり

- ・制度の広報、制度利用の相談、制度利用促進（マッチング）、後見人支援等の機能を整備
- ・本人を見守る「チーム」、地域の専門職団体の協力体制（協議会）、コーディネートを行う「中核機関」の整備

（3）不正防止の徹底と利用しやすさの調和

- ・後見制度支援信託に並立・代替する新たな方策の検討

4. 千葉県の取組みについて

国が定めた「成年後見制度利用促進法」及び「成年後見制度利用促進基本計画」では、全国のどの地域においても必要なひとが制度を利用できるように、各市町村において基本計画を定めて権利擁護支援のための地域連携ネットワークの構築を図るとともに、都道府県においても広域的な見地から市町村を支援するよう求めています。

また、第六次千葉県障害者計画においても、成年後見を必要とする人本人の状態や生活状況に十分配慮した適切な支援の下に成年後見制度が促進されるよう、市町村や成年後見業務を担う関係機関へ実態調査を行い、市町村の地域における体制づくりに対する支援策の検討を行うこととしています。

平成29年度は成年後見制度の利用促進に向けて、市町村や関係機関との協議にあたり地域の実態を把握する必要があったことから、関係団体に成年後見制度に係るアンケート調査を行ったところです。現在、健康福祉指導課にてアンケートの結果を集計し、まとめております。今後はアンケート調査の結果を踏まえ、健康福祉指導課、高齢者福祉課、障害者福祉推進課の3課で協議しつつ、成年後見制度利用促進に必要な取組みを進めて参ります。また、権利擁護専門部会においても地域の成年後見の在り方について議題として取り上げ、委員の皆様にはご意見等賜りたいと存じます。